

令和2年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ you tube などの動画を用い、目で見て分かるようにして自分のペースで学習を進められるようにした。
- ・ グループでお互いに学び合う姿勢が身についている。

(2) 課題

- ・ 細かい裁縫技能について十分な習得が得られていない。
- ・ 継続的に指導しないと、指導内容が定着しない。
- ・ 知識で学んだことが生活の中で、十分に実践できていない。

2 授業の課題分析

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の中で実践できることが限られている。特に調理実習については、ほとんどが未実習であり、今後どのように学習させるのか問題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の中の問題を課題として捉えることはできるが、それを生活の中で実践するに至っていない。特に「快適な住まい方」については課題が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習に臨む意欲は大変高い児童が多く、楽しく取り組んでいるので大きな課題はない。

3 授業改善のポイント

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 細かい裁縫技能については学校支援地域本部の協力を仰ぎ、一人一人に目をかけることによって、技能の定着を図るようにする。今年度の実施についてはコロナによって難しいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠時間については、早寝早起き朝ごはん月間の取り組みとリンクさせて、睡眠の重要性を、授業の中でも十分に扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一のものを製作させるだけでなく、一人一人に一工夫ができるような教材を与えることで、さらなる意欲の向上を図るようにする。

